

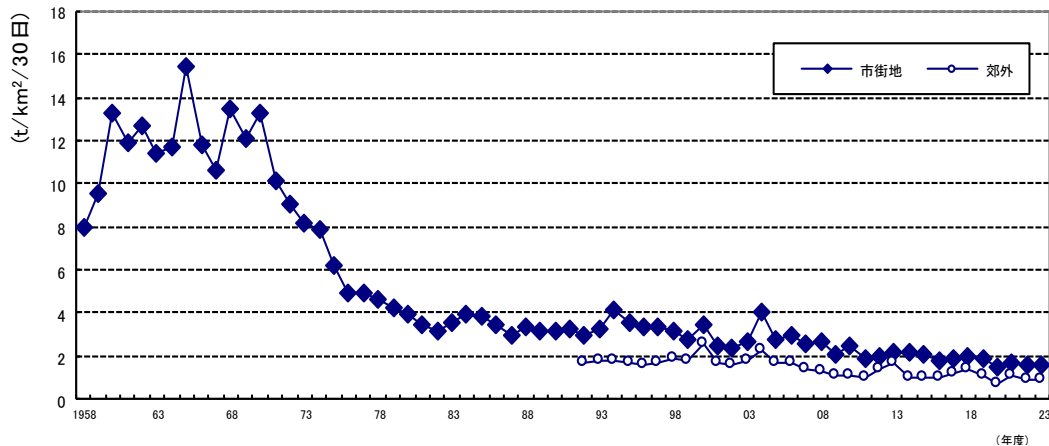
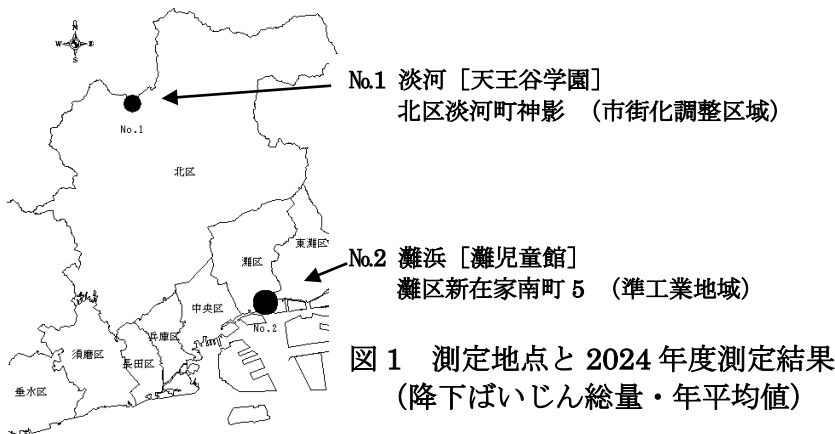
2024年度 降下ばいじん調査結果

1. 測定方法

神戸市では 1995 年代からデポジットゲージ法で降下ばいじんを測定している。
デポジットゲージは屋外に固定し、雨水やその他の大気からの降下物を受ける装置であり、ロート部分と採取容器から構成される。ロートの口径は工場及び都市における環境調査に統一的使用するため、300±5mm に規定されている。採取容器に溜まった雨水を蒸留分離することにより、降下物質の重量を測定する。

2. 測定結果

2024 年度は、灘浜、淡河の 2 地点において測定を行った（図 1 参照）。
市街地（灘浜）の降下ばいじん総量の年平均値は 1.45 ton/km²/30 日であった。
また、郊外（淡河）における年平均値は 0.72 ton/km²/30 日であった。



注) 継続測定地点
1958～1967年度 : 3 地点(東灘・中央・長田)
1968～1985年度 : 4 地点(東灘・灘・中央・長田)
1986～1991年度 : 5 地点(東灘・灘・中央・港島・長田)
1992～1994年度 : 3 地点(東灘・長田・淡河)
1995～1999年度 : 4 地点(東灘・長田・淡河・市役所)
2000～2003年度 : 3 地点(東灘・長田・淡河)
2004年度～ : 2 地点(灘浜・淡河)

表 2 降下ばいじん総量の経年変化

地 域	No.	測定 点	年平均値 (ton/km ² /30 日)						
			2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
郊 外	1	淡河	1.32	1.04	0.69	1.08	0.91	0.89	0.72
市街地	2	灘浜	1.96	1.81	1.50	1.70	1.56	1.58	1.45

※2022、2023 年度：隔月（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）平均、
2024 年度：四半期（5 月、8 月、11 月、2 月）平均